

# 伸びる社員は、何が違うか

## — 若手社員育成のポイント —

### 伸びる人の特徴とは

あるプロ野球コーチが“伸びる選手の特徴”について、このように語っています。

それは「自分のプレー結果について、客観的、具体的な言葉で語ることができる」ということです。逆に良い素質を持ちながらも「まあまあですね」「イマイチ、気合が入らなかった」等々、抽象的な表現しかできない選手は伸びないそうです。

### 「メタ認知力」とは

このように、客観的に自分の状態を把握する力を「メタ認知力」と言います。この力はビジネスの世界でも重要です。特に、若手社員の育成において「自分の仕事ぶりを、自分で考え、自分で改善策を考える」ことは、まさに育成の目的と言えるでしょう。この目的を別の言葉で言えば、**自立した社員にすること**でもあります。

### 昨今の若手社員、育成の重点事項

昨今の若手社員は「自己肯定感が弱い」と言われています。そのため、仕事がうまくいかないとすぐに「この仕事に自分は向いていないんじゃないか・・・」となりかねません。しかも、なぜ向いていないのか、明確な根拠が自分でもわからないのです。やがて「会社（状況）が変わればなんとかなるかもしれない」となってしまいかねません。

### 「メタ認知力」強化のメリット

では、メタ認知力が高いと、なぜ“伸びる”のでしょうか。それは以下のような特徴があるからです。

#### 1. 集中力が高い

問題が起きても冷静（客観的）に現状分析できるので、やるべきことが明確になる

#### 2. 周囲への配慮ができる

周囲との関係で、自分の立ち位置を把握できるので、協調するための方法がわかる

#### 3. リスク回避がうまい

失敗経験から学び、リスクを予測して対策を立てることができる

#### 4. 自己動機づけができる

自分の現状を分析できるので、何を目指すべきか考えられる等々。

では、若手社員のメタ認知力をどのように強化したらよいのでしょうか。

弊社の「若手社員戦力化研修シリーズ」には、メタ認知力の強化を始め、若手社員のレベルアップを促進する様々なカリキュラムがあります。また、貴社の現状に合わせたカスタマイズ研修です。

興味・関心がございましたら、下記からお問い合わせ下さい。

> お問い合わせはこちら

